

# ありがわ喜石材新聞

水無月  
六月

雨に映える紫陽花が美しい季節となりました。

5月は昨年生まれた三男坊の初節句でした。曾祖母に両家の祖父母、従兄弟を招待してお祝いをしました。GWは長男が長崎遠征だった為、少し時期をずらしての初節句でした。

前もって母親からいろんな衣装を着せられて写真撮影♪ 終始

ご機嫌な三男坊でした。長男坊、次男坊の初節句の写真を引っ張りだし、思い出話に花が咲きました。結局、兄弟3人とも私に似ているということでお話は終わり。その後は私がエキストラで少し出たドラマ「ばらかもん」を見て盛り上がり、とても楽しい夜となりました。年の離れた兄貴達に可愛がられながら、元気にすくすくと大きくなりますように!!



## 知っていますか? 6月の記念日

●6月18日は「考古学出発の日」です

1877年のこの日、のちに「大森貝塚」を発見・発掘したアメリカの重箱学者、エドワード・モース博士が来日しました。汽車で横浜駅から新橋駅へ向かう

途中、貝殻が堆積しているのを発見、これがのちに発掘調査される大森貝塚でした。これは日本で初めて行われた科学的な発掘調査で、日本の考古学の出発点となりました。



■発行者:有川喜(ありがわき)石材店  
有川 佑樹 (ありがわ ゆうき)

昭和57年6月 下五島生まれ。  
家族は妻、長男(中3)、次男(小5)、三男(0歳)の5人家族、両親も健在。父(社長)のもと仕事をしています。  
(一社)全国優良石材店の会 認定店。  
(一社)日本石材産業協会 長崎支部所属

海陽高(旧五島商)時代はサッカー部、ディフェンス担当でした。最近では地元ソフトボールチームで汗を流しています。仕事と同じくらい釣り好きです!!



(有)有川喜石材店 TEL:0959-72-2457  
長崎県五島市三尾野3-6-1



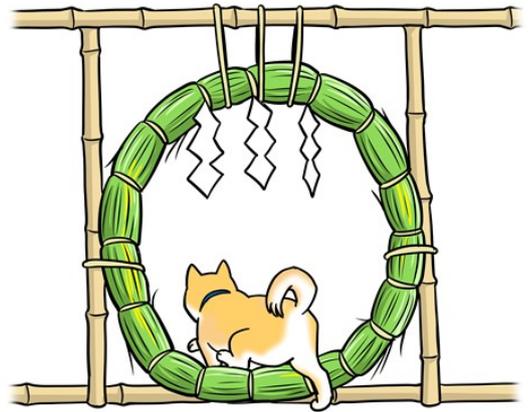
# ～お墓・神事のミニ知識～



## ★茅の輪(ちのわ)くぐり

6月の終わり、神社で見かける「茅の輪」。

茅の輪は茅(ちがや)というイネ科の植物で編んだ輪で、この時期にこの輪をくぐって心身を清めて災厄を祓い、無病息災を祈願するのが「茅の輪くぐり」です。これは、スサノオノミコトに宿を貸した備後国の蘇民将来(そみんしょうらい)が、「疫病を



逃れるため茅の輪を腰につけなさい」と教わり、その教えを守ることで難を逃れることができたことが由来なのだとか。「唱え詞を唱えながら8の字にくぐる」というのが一般的ですが、地域や神社によって作法は様々なので、この時期いろいろな神社を訪れてみるのも面白いかもしれませんね。

## 仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



お墓は「祭祀財産」(祖先を祀るために必要な財産)として、相続税の対象外とされています。次のうち、祭祀財産に当たらないものはどれでしょう？

- ① 床の間の神棚
- ② 巻物の家系図
- ③ 仏壇のある仏間



建物の一部なので、祭祀財産に当たりません。



## まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。